

さいたま市美園地区におけるサービス実装に向けたサービス検証・ファイナンスモデル試行

AI オンデマンド交通サービス実証〈第 3 期〉2022 年 10 月より実施

国土交通省「スマートシティ実装化支援事業」「共創モデル実証プロジェクト」に係る実証実験

さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム（埼玉県さいたま市、会長：一般社団法人美園タウンマネジメント）では、国土交通省令和 4 年度「スマートシティ実装化支援事業」、令和 3 年度補正予算「共創モデル実証プロジェクト」に係る実証実験として、さいたま市美園地区において AI オンデマンド交通サービスの第 3 期実証運行を 2022 年 10 月から 2023 年 2 月にかけて実施します。

さいたま市の“副都心”の 1 つ「美園地区」では、埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」を中心に土地区画整理事業を核とした新市街地づくりが進行中ですが、まちの発展・成熟に伴う人口・土地利用等の変化や、コロナ禍を経て一層の多様化が進むライフスタイルや地域ニーズ等に柔軟に対応しながら、郊外住宅地に典型的な過度な自家用車依存から脱却し、低環境負荷で、誰もが移動しやすい域内交通体系の構築が重要なまちづくり課題となっています。

そこで、市内のスマートシティ施策の推進を目指すさいたま市スマートシティ推進コンソーシアム¹では、既存交通を補完し、多様な地域ニーズに柔軟に応えながら〈脱クルマ依存型生活行動〉を支える移動手段として、AI システムを用いたオンデマンド交通サービスの実証運行を進めてきました（第 1 期 2021 年 3 ～4 月、第 2 期 2021 年 12 月～2022 年 2 月）が、この度、その第 3 期実証運行を 2022 年 10 月 24 日から 2023 年 2 月 12 日にかけて実施いたします。

第 1 期実証運行にて本サービス形態の受容性等が一定程度確認されたことを受け、第 2 期実証運行では、より利用シーンに直結したサービス設計としての乗降場所・運行時間等改善や、定額料金制や乗車インセンティブ付与等の試行・検証を実施しましたが、サービス実装に向けては、利用者増加・稼働率向上による一層の収支改善等が課題として把握されました。

そこで第 3 期実証運行では、第 2 期実証運行時のサービス内容を基調としつつ、サービス精度向上・稼働率向上等による利用者数増・利用料収入増を狙った施策の試行・検証を行い、また並行して、第 2 期実証時に試案したファイナンスモデルの実フィールドでの試行・検証も実施いたします。

今回の第 3 期実証運行での各種検証を踏まえ、郊外住宅地における AI オンデマンド交通サービスの実装モデルについて一層検討を深めるとともに、2024 年度を目標に官民連携でサービス実装に取り組んでまいります。



▲第 2 期実証運行時の様子

AI オンデマンド交通サービス実証実験 第 3 期「みその RED タクシー」実施概要

■実証サービス概要（予定）

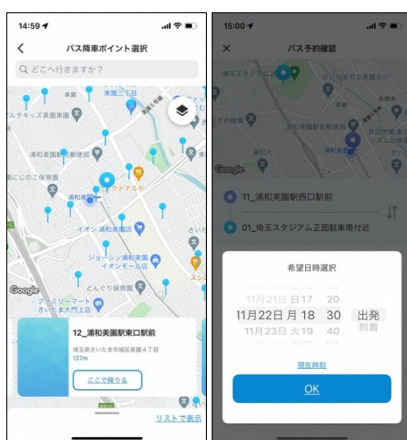
実証期間	2022年10月24日(月)～2023年2月12日(日) ※12月29日～1月3日は運休
運行時間	[月曜～金曜]7:00～21:00 [土曜・祝日]9:00～21:00 [日曜]9:00～18:00
運行範囲	浦和美園駅周辺（乗降場所約40箇所）
運行車両	運転手除く6人乗り（平日1台／土日祝2台）
予約方法	スマートフォンアプリもしくは電話
予約範囲	20分後～3日後の乗車予約（出発希望日時もしくは到着希望日時を任意選択）
乗車券等 種 別	・1回乗車： 大人300円、子ども150円（乗車時現金払いorチケットアプリ） ・定額乗車券： 15日・30日乗り放題券（紙チケットorチケットアプリ） おやこ1日周遊券（チケットアプリ） ・回数乗車券： 6回分（紙チケットorチケットアプリ）



▲実証サービスロゴ
（車両や乗降場所の目印等で使用）

■ 第3期実証運行における主な検証項目等（予定）

第2期実証（昨年度）を経ての サービス実装課題	第3期実証（今年度）における試行・検証事項	
	狙い	施策
利用者増加・稼働率向上等による 収支改善	サービス精度向上	・人流データ等の解析による乗降場所配置検証 ・利用料金体系見直し（定額券料金改訂、回数券追加）
	稼働率向上	・相乗り成立条件の精度向上 ・予約繁忙に応じてポイント付与変動するダイナミック プライシング的還元施策（空き時間帯解消）
地域（受益者）で支える持続可能な ファイナンスモデルの試行	地域共創モデルの構築	・地域事業者等との連携による企画チケットや協賛メニュー等の開発・試行・検証
低環境負荷のまちづくり推進に向けた サービス訴求	環境貢献意欲への訴求	・地域貢献意欲に訴求したインセンティブ施策の企画・試行・検証
サービス利用時のUX向上に向けた アプリ間連携・モード間連携	横断的なデータ分析	・データ連携基盤（都市OS：共通プラットフォームさいたま版）の活用した各種履歴データの統合分析



▲乗車予約アプリ「MONET」（イメージ）



▲チケットアプリ「Speedy」（イメージ）



▲特設 Web ページ（イメージ）

■ 実施体制

主 催	さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム（美園地区プロジェクトチーム ⁱⁱ ）
車両運行	（株）つばめタクシー（埼玉県乗用自動車協会会員）
運行システム	MONET Technologies(株)
協 力	PaylessGate(株)、フェリカポケットマーケティング(株)、(株)ブログウォッチャー、(一社)おもてなしICT協議会、美園タウンマネジメント協会、みその都市デザイン協議会
実証実験 事務局	(一社)美園タウンマネジメント、さいたま市浦和東部まちづくり事務所 [事務局支援] KPMGコンサルティング(株)



▲特設 Web ページ

※本実証実験は、国土交通省都市局令和4年度「スマートシティ実装化支援事業」および同省総合政策局令和3年度補正「共創モデル実証プロジェクト」を一部活用して実施いたします。

※道路運送法手続きや新型コロナウイルス感染症流行状況等により、サービス内容等が一部変更となる場合がございます。

※その他詳細は、別紙案内チラシ・特設 Web ページ（<https://www.misono-tm.org/misono-red-taxi/>）をご参照ください。

- i **さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム**：官民連携によりビッグデータやAI、IoT等の先進技術を活用した事業に取組むことで、市民サービスの向上と持続可能なまちづくりの実現を図ることを目的に、2020年1月に設立（会長：（一社）美園タウンマネジメント／事務局：さいたま市／17団体加盟：2022年9月末時点）。大宮・さいたま新都心地区および美園地区をモデル地区としてスマートシティ施策の推進に取り組んでおり、特に美園地区では、商業・業務機能の集積する大宮・さいたま新都心地区とは対比的に、鉄道駅を拠点に住居系土地利用の進展する市街地モデルとして施策検討・試行検証等を推進。
- ii **美園地区プロジェクトチーム構成メンバー**：イオンリテール(株)、浦和レッドダイヤモンズ(株)、埼玉スタジアム2002公園管理事務所、埼玉高速鉄道(株)、国際興業(株)、(株)つばめタクシー、MONET Technologies(株)、KPMGコンサルティング(株)、(一社)美園タウンマネジメント、さいたま市、埼玉大学〈アドバイザー〉、国土交通省埼玉運輸支局〈オブザーバー〉、埼玉県警察浦和東警察署〈オブザーバー〉

《この件についてのお問い合わせ先》

一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：岡本）

Phone. 048-812-0301 E-mail. info@misono-tm.org